

●ものづくり企業の新規事業創出を支援する「開放特許活用型モデル事業」の実施について

札幌市では、「札幌市産業振興ビジョン」とそのアクションプランである「札幌型ものづくり振興戦略」を策定し、高い付加価値を作り出すものづくり産業の振興に向けて、市内中小企業に対し、札幌型ものづくり開発推進事業や札幌発の環境産業創出事業など、さまざまな支援策を実施しているところです。

このたび、これらの取り組みの一環として、ものづくり企業の新規事業創出を支援する「開放特許活用型モデル事業」を実施します。

この事業は、国内外で高いシェアを占める製品や技術を持つ企業が存在する一方で、多くは受託による製品製造、下請業務を主体としている市内のものづくり企業に対し、大企業や大学研究機関等が持つ開放特許を移転し、中小企業の「技」と大企業等の「知」(特許)を結び付けることで、中小企業の新製品開発や新規事業の創出を支援するものです。

同事業の実施などにより、市内のものづくり企業の他社と差別化できる製品・サービスの開発を支援し、オンリーワン企業の創出を目指します。

開放特許とは…

特許は原則としてその権利者しか使用できないが、権利者が他者に開放(ライセンス契約・譲渡など)する意思のある特許のことを指す。特許を開放する権利者にはライセンス収入などのメリットが、開放特許を利用する方には、膨大な開発費を掛けずに特許を利用でき、短期間で新製品開発のアイデアや技術を入手できるなどのメリットがある。

1 事業の名称

「開放特許活用型モデル事業」

2 事業の内容

(1) 技術移転交流セミナーの開催

大企業や大学等研究機関が持つ開放特許をビジネスに生かすポイントについて、事例を交えて紹介するセミナーを開催する。

① 概要：

- ・ 開放特許をビジネスに生かす方法についての講演。
富士通株式会社 知的財産権本部 知的財産活用ビジネス統括部
ビジネス開発部長 吾妻 勝浩氏
- ・ 開放特許を実際に新製品開発に活用した事例の紹介。
株式会社末吉ネームプレート製作所 代表取締役社長 沼上 昌範氏
札幌エレクトロプレイング工業株式会社 代表取締役 嶋村 清隆氏

② 日時：平成 24 年 8 月 7 日(火) 14:00~16:00

③ 会場：札幌コンベンションセンター「小ホール」(白石区東札幌 6 条 1 丁目)

④ 対象者：事業における課題解決のアイデアを探している方や、開放特許活用による技術移転に関心のある方

(2) マッチングイベントの実施

大企業等による開放特許等の知的財産の紹介および大企業等が持つ知的財産と中小企業等のニーズのマッチングを目的とした商談会を実施する。

① 開放特許提供予定企業：

富士通株式会社、日産自動車株式会社、日本電気株式会社、雪印メグミルク株式会社、株式会社神戸製鋼所（計5社）

② 日時：平成24年9月5日（水）13：00～17：00

③ 会場：KKR ホテル札幌（中央区北4条西5丁目）

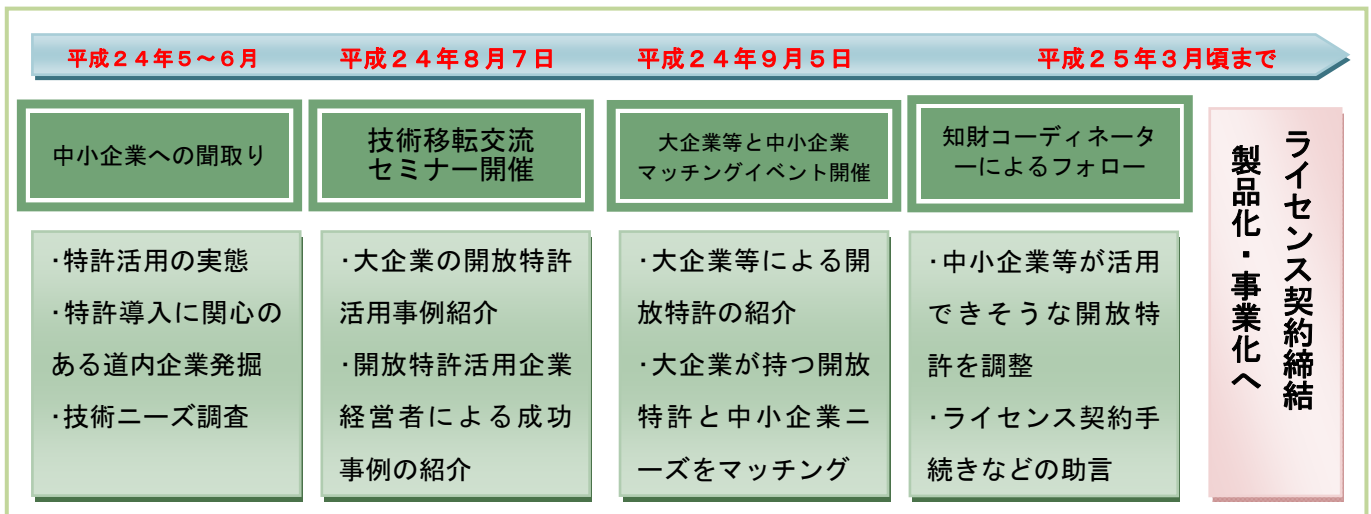
④ 提供が予定されている開放特許（一部）

富士通	<p>■開眼検出技術：まぶたの閉じ具合を高精度にセンシングし、眠気等を検出する技術。</p> <p>■芳香拡散技術：香りの交換・選択制に優れた、香りを発生させる技術。</p>
日産自動車	<p>■傷がつきにくいクリアコート（スクラッチシールド） 擦り傷に強く、滑りにくいクリアコート。</p> <p>■高触感の合成皮革（ソフィレス） 赤ちゃんのほっぺたのように柔らかく、かつ、高耐久の合成皮革。</p>
神戸製鋼所	<p>■高機能抗菌めっき技術ケニファイン 従来の抗菌材に比べ、抗菌性10倍以上、防カビ性50倍以上。 メッキだけでなく、アルマイトや粉末、塗料、繊維などの利用も可能。 既に、食品、医療、住宅、漁業など、様々な分野で適用されている。</p>

(3) 知財コーディネーターによるフォロー

商談会終了後、特許や技術移転に関する専門的知識を有する「知財コーディネーター」が、大企業等と中小企業間の特許移転の手続きやライセンス契約に関するアドバイス、フォローを行い、高付加価値製品の開発から事業化に至るまでの取り組みを一貫して支援する。

《事業の流れ（イメージ）》



問い合わせ先

経済局産業振興部ものづくり産業課 池田・常川

電話：211-2362